

仙南保健所管内の全数報告疾病

(宮城県感染症発生動向調査 第7週～第10週 (R8.2/9～R8.3/8) より)

1類感染症：報告なし 2類感染症：報告なし 3類感染症：報告なし
4類感染症：レジオネラ症 女性1名(第6週分) 5類感染症：百日咳 女性1名



仙南保健所オリジナルキャラクター
「てあらっこ」

水痘(みずぼうそう)

水痘は、小児に多く見られ、水痘帯状疱疹ウイルスにより感染します。抵抗力の弱い乳児や高齢者、免疫抑制剤を使用している方等が感染した場合は、重症化しやすいので、注意が必要です。

水痘とは・・・

- ・症 状：水疱(水ぶくれ)、発熱(38℃前後)。水疱は直径3～5mm程度の大きさの全身性発疹でかゆみを伴います。数日にわたり、新しい水疱が次々とできるため、丘疹、水疱、痂皮(かさぶた)が混在し、全て痂皮化するまで6日程度かかります。
- ・潜伏期間：10日～21日
- ・感染経路：空気感染・飛沫感染(咳やくしゃみなどによって感染します)
接触感染(水疱や粘膜の排出物に接触することによって感染します)



予防には・・・ ワクチン接種が有効です

- ・1～3歳の間に2回接種することが推奨されています(定期接種)
- ・未接種者が発症者と接触した場合、72時間以内にワクチンを接種することで、発症を抑える、又は軽症化が期待できるとされています。接種の実施については、かかりつけ医にご相談ください。
- ・家族や身近な方が感染した場合は、石けんと流水による手洗いを徹底し、タオルの共用は避けましょう。
- ・「咳エチケット」を徹底しましょう。

帯状疱疹

2025年度から、65歳の方などへの帯状疱疹ワクチンの予防接種が、予防接種法に基づく定期接種の対象になっています。

概要

- ・過去に水痘(水ぼうそう)にかかった時に体の中に潜伏した水痘帯状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱(水ぶくれ)が出現する病気です。
- ・免疫低下や加齢などに伴い、ウイルスが再び活性化することによって発症します。
- ・合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「帯状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。70歳代で発症する方が最も多くなっています。
- ・帯状疱疹ワクチンは、帯状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

定期接種の対象

- ・65歳を迎える方
- ・60～64歳で対象となる方：ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方
- ・2025年度から2029年度までの5年間の経過措置として、その年度内に70、75、80、85、90、95、100歳となる方も対象となります。

御意見・御質問などは
仙南保健所疾病対策班までお願いします
電話：0224-53-3121
FAX：0224-52-3678

せんなん感染症情報
バックナンバーは
こちらからどうぞ➡



宮城県感染症発生
動向調査【週報】は
こちらからどうぞ➡

